資料2-1

奈良市下水道事業中長期計画

（案）

2025年（令和7年）

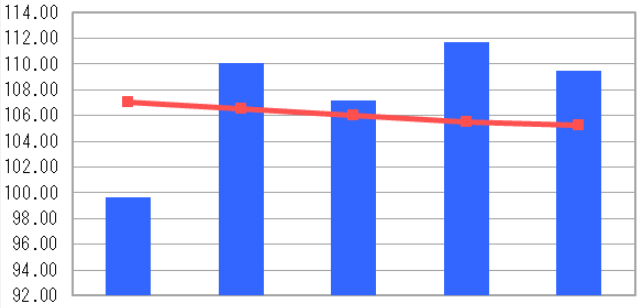
奈良市企業局

奈良市の下水道事業の現状

〈グラフ凡例〉
■：当該値(奈良市)、 ―：平均値(類似都市平均(または中核市平均))、【　】内：R5全国平均

経常収支比率(%)

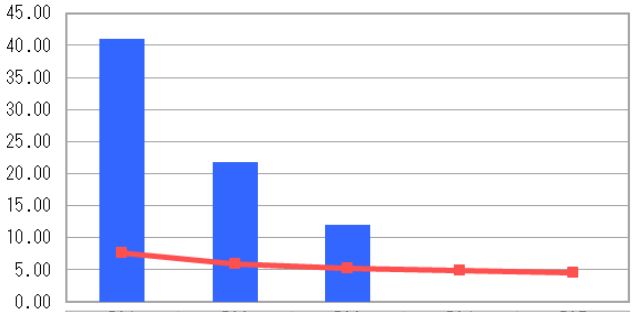
【105.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	99.62	110.10	107.21	111.71	109.45
平均値	107.03	106.55	106.01	105.50	105.24

累積欠損金比率(%)

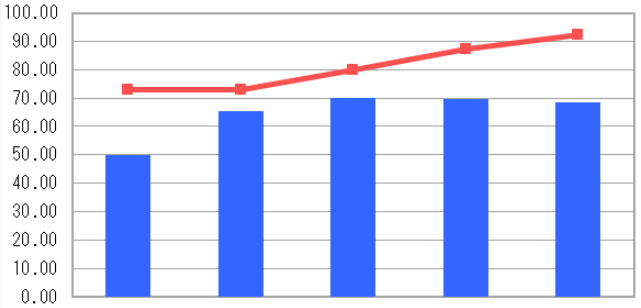
【3.03】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	41.03	21.84	11.94	0.00	0.00
平均値	7.69	5.95	5.27	4.83	4.50

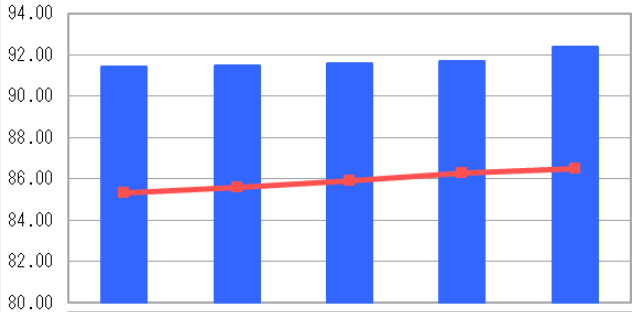
流動比率(%)

【78.43】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	50.09	65.47	70.18	69.79	68.49
平均値	73.02	72.93	80.08	87.33	92.26

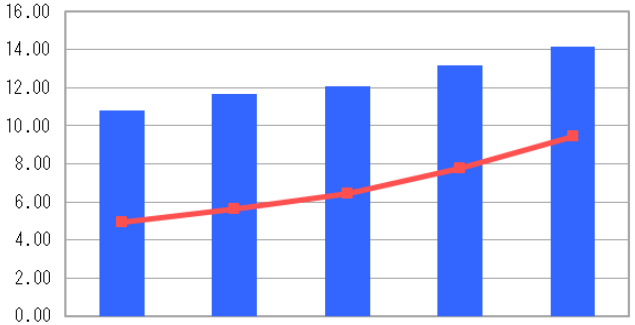
普及率(%)



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	91.40	91.50	91.60	91.70	92.40
平均値	85.30	85.60	85.90	86.30	86.50

管渠老朽化率(%)

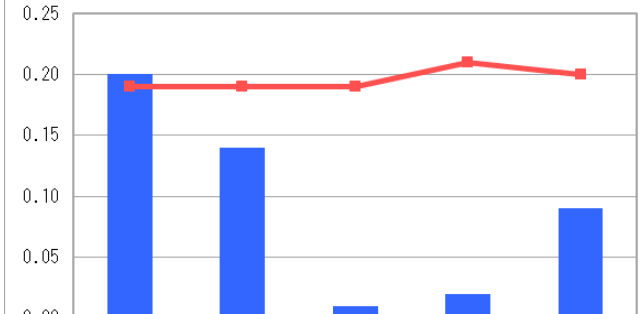
【8.68】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	10.81	11.66	12.05	13.17	14.15
平均値	4.95	5.64	6.43	7.75	9.44

管渠改善率(%)

【0.22】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.20	0.14	0.01	0.02	0.09
平均値	0.19	0.19	0.19	0.21	0.20

- 令和2年5月に使用料改定を行ったことにより、使用料収入が増となり経営状態は改善された。
- 管路の老朽化が一層進むことが想定され、今後耐震化などの対策が求められる。

出所：（普及率のグラフのみ)中核市市長会「都市要覧」より奈良市作成、(その他のグラフ)総務省「経営比較分析表（令和5年度決算）」

国の施策について

下水道の使命・使命達成のための長期ビジョンおよび中期的（１０年程度）な施策

下水道の長期ビジョンの位置づけ

下水道ビジョン2100
下水道から「循環のみち」へ　100年の計
－地域の持続的な発展を支える21世紀型下水道の実現－
＜平成17年9月策定＞

↓

新下水道ビジョン
～「循環のみち」の持続と進化～
＜平成26年7月策定＞
長期ビジョン　概ね10年の中期計画

↓

新下水道ビジョン加速戦略
＜平成29年度策定＞
＜令和4年度改訂＞

次期下水道ビジョンへ

↓

長期ビジョン
『循環のみち下水道』の**成熟化**

８つの重点項目と主な施策

- Ⅰ：官民連携の推進
- Ⅱ-１：下水道の活用による付加価値向上
  Ⅱ-２：脱炭素化の推進
- Ⅲ-１：汚水処理システムの最適化
  Ⅲ-２：水環境管理
- Ⅳ：アセットマネジメント・下水道DX
- Ⅴ：水インフラ輸出の促進
- Ⅵ：気候変動等を踏まえた防災・減災の推進
- Ⅶ：ニーズに適合した下水道産業の育成
- Ⅷ：国民への発信

「循環のみち下水道」の持続

各地方公共団体ごとの使命および機能やサービスの目標水準を、適切なマネジメントにより「持続」させることを目指す

「循環のみち下水道」の進化

人口減少や気候変動、ICT等の技術革新等を踏まえ、スマートに対応していくことや、下水道のポテンシャルを活かしつつ、多様な主体との連携を通じ、分野や地域を越えて社会への貢献範囲を拡大させていくことを目指すもの

出所：国土交通省「新下水道ビジョン～「循環のみち」の持続と進化～」、「新下水道ビジョン加速戦略～実現加速へのスパイラルアップ～令和４年度改訂版」

奈良市下水道事業中長期計画（案）の概要

計画の目標：バランスのとれた投資水準と使用料水準の確保

投資水準
・更新投資は年平均15億円程度
・更新投資相当の維持管理業務を持続

使用料水準
・現行の使用料水準を維持(2023年度使用料単価：138円/㎥)

投資水準の目標（R6～R13）

(1)単独処理区統廃合事業
・青山、佐保山、平城処理区を統廃合
年平均３億円

(2)総合地震対策事業(新規事業)
・管渠耐震化
・マンホールトイレ
年平均３億円

(3)ストックマネジメント事業
・管渠改築
・施設改築
年平均４億円

(4)流域下水道建設負担金
年平均２．５億円

(5)臨時的事業
・下水道普及促進
・社会資本整備に伴う移設工事
年平均２．５億円

※重点施策

汚水処理システムの最適化
【施策】
（１）広域化・共同化

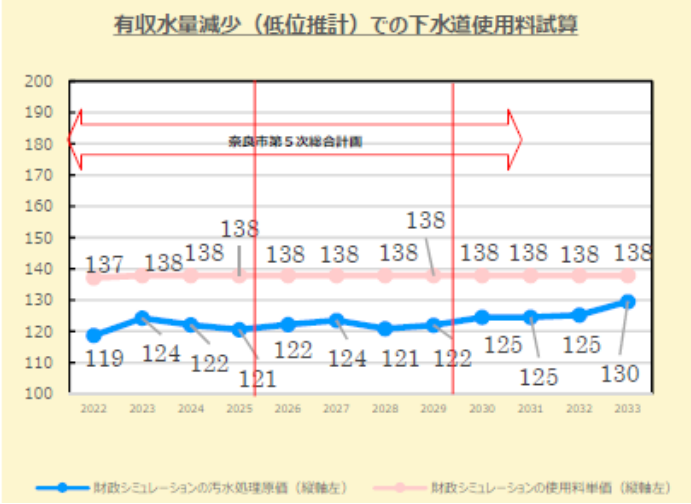
防災・減災の推進
【施策】
（１）耐震化

官民連携の推進
【施策】
（１）ウォーターPPP

国土交通省
新下水道ビジョン加速戦略
（令和4年度改訂）

投資水準と使用料水準のフォローアップを実施する

使用料水準の目標

使用料水量の要因
【人口・施策要因により使用水量計画】
人口変動・施策要因により使用水量が変動し使用料水準に影響する

給水人口低位推計でも、
2033年までは
現行使用料水準